

2015年11月 定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

11月	2日	くらし部会
	5日	とちぎ消費者カレッジ作新学院大学、栃木放送番組審議会
	6日	理事・職員定期学習会
	9日	適格消費者団体研究会
	10日	常務理事会、消費者ネットワーク幹事会
	11日	日生協第2回大規模災害対策協議会
	12日	栃木県食の安全セミナー(輸入食品の安全性について・県との共催)
	17日	栃木県生協連原発問題学習会、とちぎ消費者カレッジ宇都宮大学、JA 栃木県大会
	18日	栃木県農政審議会
	20日	栃木県次期プラン策定懇談会
	26日	とちぎ消費者カレッジ栃木県農業大学校
	27日	食品安全地域フォーラム in 日光市
28日	いわき四倉お茶会	
12月	1日	小山市介護予防体制整備研究会
	2日	MCA 無線訓練
	3日	栃木県食の安全セミナー(食品添加物について・県と共催)、福祉事業団体忘年会
	4日	栃木県議会会派との懇談会
	5・6日	eco テック&ライフとちぎ 2015
	7日	食と農をつなげる会
	8日	理事会
	14日	理事・職員定期学習会
	16日	とちぎ消費者カレッジ國學院栃木短期大学
	17日	食の安全ネットワーク全体会
	22日	適格消費者団体研究会
24日	小山市総合計画策定懇談会	
1月	4日	宇都宮市・小山市賀詞交歓会
	5日	連合栃木新春のつどい
	15日	常務理事会、財政検討委員会、賀詞交歓会
	18日	栃木県子どもエコクラブ審査会
	19日	消費者ネットワーク幹事会
	21日	食の安全ネットワーク世話人会
26日	とちぎ食の安全安心推進会議	

【11月の振り返り】

◇行政関係

・懇談会・審議会への参加

- 18日 栃木県農政審議会(竹内会長出席)
- 20日 栃木県次期プラン策定懇談会(竹内会長出席)

◇ネットワーク活動

- 5日 とちぎ消費者カレッジ作新学院大学
- 12日 栃木県食の安全セミナー
- 17日 とちぎ消費者カレッジ宇都宮大学
- 26日 とちぎ消費者カレッジ栃木県農業大学校
- 27日 食品安全フォーラム in 日光市

◇学習会

- 6日 第1回理事・幹部職員定期学習会
- 17日 栃木県生協連原発問題学習会

◇被災地支援

- 28日 いわき四倉ボランティアお茶会

◇その他

- 9日 適格消費者団体研究会
- 17日 JA 栃木県大会

県連活動

1. 機関運営

- 11月10日(火)、2015年度第3回常務理事会を開催しました。
議題は、「前回機関会議以降の活動報告及び決算報告」と「次月度以降の取り組みの件、第3回理事会議案の件、通常総会日程決定の件、代議員選挙管理委員指名の同意について、代議員枠の決定について、財政検討委員会委員互選の件、第6次中期計画の件(第5次中計の振り返り)、1月賀詞交歓会の実施計画について」以上が確認されました。

2. くらし部会

- 11月2日(月)、2015年度第4回くらし部会を開催しました。内容は以下の通りです。

■「第10回うつのみや食育フェア」振り返り だしの飲み比べについて…「だしのとり方」を読み「簡単だからやってみよう」という方も。長年慣れてしまっているからか、年配者には「顆粒だし」が好評。子どもや高校生等の若者は、天然だしがおいしいという。若い人の口が市販品に慣れる前に、何とかしたいと思う。 こまごわやさしい、について…「まごわやさしい」ではなく「こ(米)まご」なのね、とクイズやパネルをよく見てくれた。雑穀米を食べている方も多く、雑穀の説明もした。 全般…天気が良く、人も多く、クイズやプレゼントが昼過ぎには終わった。やりがいがある。だしについては、本枯れ節など見たこともない層が多いと思うので、それを削るなどの実演展示を今後計画したら楽しいのではと思う。		
■「ECOテック&ライフとちぎ2015」出展計画 12月5日(土)12月6日(日)とちぎマロニエプラザにて開催される、生活クラブ生協、よつ葉生協、とちぎコープの3生協で、環境についての展示と、エコクイズの出題を行い、来場者にコープのコアノンロールをプレゼントします。		
■会員生協からの活動報告		
生活クラブ生協 利用促進、拡大のため、年始年末品の試食を行う。一般に向けて生産者交流会も実施。 参加の呼びかけ⇒11月23日(日)真岡市酪農栃木の一画にて“マルシェ”開催。野菜の販売等予定	よつ葉生協 よつ葉カフェを開催中。 参加の呼びかけ⇒第26回よつ葉生協ふれあいまつり、11月22日(土)小山市総合運動公園で開催	とちぎコープ 組合員交流の場 「おしゃべりコープ」「ママカフェ」を開催中。
■11月9日(月)、「2015年度食と農をつなげる会」開催に向けて「第二回代表者打ち合わせ会議」を開催しました。予定通り、12月7日(月)13時～16時、講演会「(仮)我が国の食[農]の戦後史・講師：民間稲作研究所 齋藤一治氏」の開催と、地域の役員約60名が参加して分散会を行い、市販品と手作りの食べ比べをすること等を確認しました。		
■その他、ご意見等 ・今まで生協を支えてきた方たちの高齢化が進んでいる。今の若い方たちは、あまり生協に重きを置かず、このままでは、生協の弱体化は明らか。若い層に利用していただけるよう、政策的に、もっと真剣に考えなくてはならないのではないかと。 ・TPPに加盟した。マスコミでは海外からの輸入が増え、消費者が安いものを選べるようになるとの論調。こだわりのない人は安い物を選んでいく。今の社会情勢は、私たちが生協を立ち上げた時と同じ様に、違った意味ではあるが、食の安全が脅かされている。今の若い人たちに、何を選ぶことが重要なのか、知らせる必要があると思う。		

3. 県連学習会

- 11月6日(金)、2015年度第1回 理事・幹部職員定期学習会を開催しました。
2014年度、定期的で開催した「理事・役職員定期学習会」では、協同組合の歴史的認識や役割、原則について改めて学びました。2年目の取り組みとなる今年度の1回目は、宇都宮共和大学教授 和田佐英子氏から「日本の財政、地域の財政」についてお話いただきました。アンケートには「国が借金を抱えていることは知っていますが、それが私たちの暮らし、これからの世代にどう影響して行くのかを考える機会となりました」「国民1人1人が関心を持ち、自分たちの税金がどのように使われているかをしっかり監視して行くことが必要」「予算を見ると国や地方の方向性が見えてくることでしたので、自分の住んでいる市の広報を良く見ます」などがあり、今日本や栃木で起きている問題の根底にあるものの一端を知り、考える事ができました。

- 11月17日(火)、組合員、役職員学習会に、元東海村村長で、脱原発をめざす首長会議世話人の村上達也氏を講師にお迎えし、「原発再稼働 -なぜ 変れないのか-」を開催しました。一般の方や塩谷町町長も参加され、参加者約70名でした。村上氏からは原発問題を中心に、憲法や地方自治など、背景にあるこの国の課題をも多角的にご教授いただき、経済優先にのみ価値を置くのではなく、持続可能な世の中を創っていく上で、協同組合が果たす役割は大きいというお話もいただきました。



「分かりやすく、とても考えさせられる内容でした。原発問題は、日本国の問題であり私たち1人1人の問題だと感じました。そして、私は知らない事ばかりだと痛感しました」

「今の日本の姿は私たちが望んでいる姿なのか、よく考えるためにも、こうした学習会に参加し、自分の中で理念や理想を構築していく必要があると思っています。村上先生が講演の中で何度かおっしゃっていましたが、生協が果たす役割が大きいのだということに改めて感じています。」
 <アンケートより>

4. 行政関係

<懇談会・審議会への参加>

- 11月20日(金)、栃木県次期プラン策定懇談会に会長理事が出席しました。
- 11月5日(木)、栃木放送番組審議会に会長理事が出席しました。
- 11月11日(水)、日本生活協同組合連合会主催の第2回大規模災害対策協議会に参加しました。
- 11月18日(水)、栃木県農政審議会に会長理事が出席しました。

5. その他

- 11月9日(月)、適格消費者団体研究会に、会長理事が出席しました。今後、適格消費者団体について地域への理解をもっと広げるため、様々な団体、個人へ賛同の呼びかけを検討しています。
- 11月17日(火)、JA 栃木県中央会大会に会長理事と専務理事が出席しました。
- 11月21日(土)、よつ葉生活協同組合による「よつ葉ふれあい祭り」が盛大に開催されました。
- 11月5日(木)、27日(金)、30日(月)、とちぎコープと共催で、ドキュメンタリー映画「シロウオ～原発立地を断念させた町～」(かさこ監督、2013年製作、104分)の上映会を行いました。原発立地計画を断念させた自治体は全国で34カ所あり、「シロウオ」はその中の紀伊水道を挟んで徳島と和歌山の住民に取材をして作成された映画です。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 11月12日(木)、栃木県と共催で、栃木県食品安全セミナーを開催しました。
 平成26年度栃木県政世論調査の結果「食品の安全性について不安に思うもの」として、輸入食品は44.1%、調査16項目のうち第3位となっています。今回のセミナーでは、空港や港の水際で行う輸入食品の審査や検査についての説明と、輸入食品の安全性の確保がどのように行われているか、食品事業者が輸入時にどのような取組をしているか等の報告と、パネルディスカッションを行いました。

基調講演「輸入食品の安全性確保について」

講師：東京検疫所 食品監視第二課 食品監視第二課長 田宮実千雄 氏

「企業における品質管理の取組み」

講師：東洋精糖株式会社 研究開発部 研究開発課 主任 橋爪雄志 氏

意見交換及び質疑応答

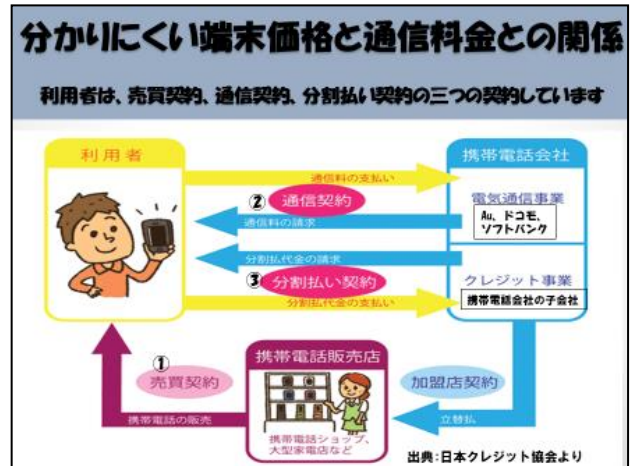
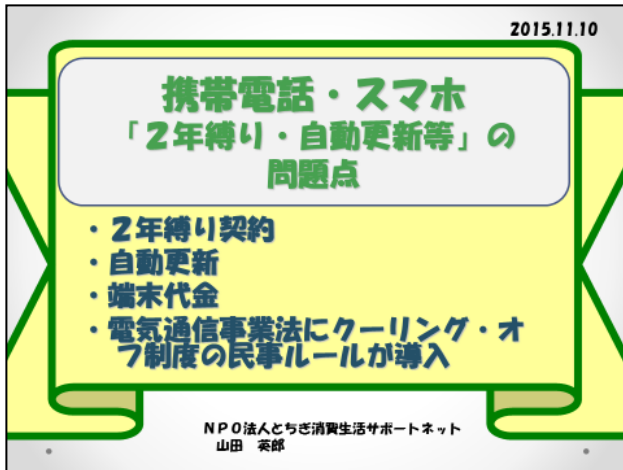
コーディネーター：宇都宮大学 名誉教授 宇田 靖 氏

パネリスト・基調講演者・取組報告者・県生活衛生課 食品安全推進班長 高橋正典 氏

- 11月27日(金)、食品安全地域フォーラム in 日光市に参加しました。今回は、日光にある豆腐メーカーのタイシ食品工業にて、HACCP 認定工場の見学、豆腐作り体験等を行いました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 11月10日(火)、消費者ネットワーク幹事会を開催しました。NPO法人とちぎ消費生活サポートネット理事の山田 英郎 氏に講師をお願いし、ゼロ円スマホの仕組みや問題点についてお話しいただきました。



講師:山田 英郎 氏のレジュメより

- とちぎ消費者カレッジを開催しました。

11月5日(木) 作新学院大学	11月17日(火) 宇都宮大学	11月26日(木) 栃木県農業大学校
NPO法人とちぎ消費生活サポートネット理事 山田 英郎 氏	弁護士 服部 有 氏	NPO法人とちぎ消費生活サポートネット副理事長 白土 美代子 氏
	<p>消費者が法的責任を問われる場合は</p> <p>—煩わしい法律問題を回避するために—</p>	<p>若者の消費者問題を考えてみましょう</p> <p>—相談の現場から伝えたいこと—</p>

震災支援活動

1.東日本大震災、福島第一原事故避難者支援の取り組み

- 11月28日(土)、第41回いわき市四倉仮設住宅でのお茶会を開催しました。参加者11名、スタッフ10名でした。料理は「一人では作らないから」と昨年も好評だった鍋を作り「体が温まる」と喜ばれました。また、今回は帰路の途中で天神岬を視察しました。高台には子供たちの遊具やサイクリングロード、レストラン施設なども整備されていますが、遊具には使用禁止のロープが張られ人影はありません。展望台から見下ろすと、海岸線から広がる土地は低く、3.11の津波被害がひどかったようですが、除染で出たゴミのフレコンが積み上げられ、もし次の津波が来たらどうなるのか、恐ろしさを感じる風景が広がっていました。



写真右上に広がるのがゴミ置き場 除染した土などが入ったフレコン

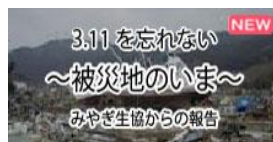
お茶会スタッフの感想



- ① クリスマスツリーフレーム作り、楽しんでいただけて良かったです。
- ② いつもお茶会に来てくれる参加者の旦那さんが久々に来てくれて、元気な顔が見られて嬉しかった。
- ③ 仮設を回って参加の呼びかけをしたら、その男性がにこにこして、楽しみにしてるんだよ、と参加してくれました。
- ④ その方に暮らしのことを聞いてみたところ「もうねえ、ここまで来るとねえ・・・疲れるよね」とおっしゃり、この4年間に色々あったことを感じました。「どうなるんだろうねえ」という一言もあり、先行きに対する不安が拭いきれないであることを感じました。男性なので、あまり口数は多くないのですが、一言一言の中にこれまでのご苦労がしのばれました。
- ⑤ いつも来てくれる木田さんが、自宅に帰ることにしたので今日が最後の参加となり「毎回楽しみにしていたし、皆と仲良くなれたのに寂しい」とおっしゃってしまいました。家は住んでいないとネズミや猫の被害で傷む一方だし、自分の老後のことも考えて、一大決心をして息子夫婦と一緒に帰るそうです。暮らしが変わる、というのはこういうことかと実感させられました。
- ⑥ 被災者の男性が、生協の男性陣を連れて被災地を見せて回ってくれて、それによって「被災地を視る事の大切さ」に気づきいたとちぎコープでは、職員の福島視察を企画した。「忘れない」ためにも、こういう取り組みが大切であると、被災者の方に気づかせてもらいました。
- ⑦ 農家の方は、ここが来年の3月で閉鎖されてしまったら「畑で草取りばかりしてるかも」と言っていました。お一人暮らしになり「他にすることがねえんだもん」と。
- ⑧ 自宅に帰る事が出来た方も、隣近所との付き合いはあまりないけれど、窓に明かりが点いている家を見るとホッとするとのことでした。もっと地域に出ようと、好きなコーラスの会に入ってみたら童謡のコーラスで、ちょっと思ったのと違うけど参加している、と笑っていました。(ちなみに、ひろのは「童謡のまち」なのだそうです。「今は山中今は浜～」の歌は、ひろののことで、電車に乗っているとその通りの風景が広がっている、と教えてくれました)
- ⑨ 引越しされる方、戻る方、ここにいる方、色々な立場の方がいらっしゃるので、内心思っていることがあっても表に出せず、胸の内は葛藤があるのだろうと感じています。こうして、時々ですが、こういう所でそういうお話を聞いたり、感じたりすることは、自分の気持ちの面でもとても大切なことだと思います。この場に参加する大切さを感じます。

〈次回は12月19日(土)〉

- 11月5日(木) みやぎ生協さんの報告をもとに、第27回「地域再生に向けて(2)～また来たい、また住みたい～交流観光で南三陸町ファンを拡大」をアップしました。



- 11月9日(月)、「12月7日開催予定の、2015年度食と農をつなげる会」開催に向けて「第二次代表者打ち合わせ会議」を開催しました。予定通り、12月7日(月)13時～16時、学習会「(仮)我が国の食[農]の戦後史・講師: 民間稲作研究所 齋藤一治 氏」の開催と、地域の役員約60名が参加して分散会を行い、市販品と手作り品の食べ比べをすること等を確認しました。
- 「ECOテック&ライフとちぎ2015」出展計画「第10回うつのみや食育フェア」振り返り●生活クラブ生協10月4日(日)開催の「第10回うつのみや食育フェア宮っこ食べっこ元気っ子～楽しく知ろう食のチカラ～もっとおいしくもっと健康に!」の振り返りと、12月5日(土)6日(日)に開催される「ECOテック&ライフとちぎ2015…マロニエプラザ」の出展計画をすすめました。例年通り環境に関するパネル等の展示とクイズを行い、コアノンロールをプレゼントとする予定です。